

2016年におけるベトナムの社会経済状況概観

1. 経済成長

2016年の国内総生産（GDP）は、2015年と比べ6.21%増加した。そのうち農林漁業部門の成長は1.36%の増加であったが、中部4省での異常気象や海洋汚染事故により2011年以来最低となった。経済成長率には、0.22パーセントポイントの寄与である¹。工業・建設業部門の成長は、7.57%の増加であったが、前年の9.64%を下回る成長となった。経済成長率への貢献分は、2.59パーセントポイントである（鉱業は4.00%の減、経済成長率全体に対する寄与分は0.33パーセントポイントの減少）となった。サービス部門は6.98%の成長となり、経済成長率には2.67パーセントポイントの寄与となった。2016年の経済成長率は、2015年の6.68%を下回っているが、世界的に好ましくない経済情勢や、悪天候および海洋汚染問題による困難な状況の中で、このような成長を達成できたことは、上出来であった。

2016年の歳出部門別にGDPの構成をみると、最終消費は、2015年に比べ7.32%増加し、経済成長率に5.29パーセントポイント寄与した。総資本形成は、9.71%の増加となり、経済成長率に3.08パーセントポイントの寄与があった。純輸出は赤字を記録し、経済成長率への寄与では、2.16パーセントポイント減少につながった。

名目GDPは、2016年に4,502兆7,000万ベトナムドンに達した。一人当たりGDPは4,860万ベトナムドンとなり、これは2,215USドルに等しい（2015年に比べ106USドルの増加）。2016年の経済構造に関しては、農林漁業が名目GDPの16.32%、工業および建設業は32.72%であった。またサービス部門は40.92%、純間接税は10.04%を占めた。

2. 国家歳入歳出予算及び保険

2016年の国家歳入予算は、1,101兆4,000億ベトナムドンと推定され、2015年に比べ104兆5,000万ベトナムドンの増加となった（これは国家歳入予算の10.5%である）。2016年の国家歳出予算は、1,361兆1,000万ベトナムドンと推定され、2015年に比べ15.5%の増加となった。

2015年における総保険収入は、217兆8,000万ベトナムドンに達し、このうち社会保険収入は148兆4000億ベトナムドンであった。すなわち、国民健康保険収入は、59兆7,000億ベトナムドンに達し、失業保険収入は9兆7,000億ベトナムドンであった。2015年における総保険支出は201兆5,000億ベトナムドンになり、そのうち社会保険支出は147兆6,000億ベトナムドン、健康保険支出は49兆ベトナムドンに達し、失業保険支出

¹ 対前年の農林漁業の用地面積増加率は、2011年で4.23%、2012年で2.92%、2013年で2.63%、2014年で3.44%、そして2015年で2.41%となった。

は4兆9,000億ベトナムドンとなった。2015年末までの総保険収支は471兆8,000億ベトナムドンであり、そのうち社会保険収支は373兆3,000億ベトナムドン、健康保険収支は49兆3,000億ベトナムドン、失業保険収支は49兆2,000億ベトナムドンに達した。

3. 投資

2016年の名目投資額は1,485兆1,000億ベトナムドンで、2015年に比べ8.7%の増加となった。これはGDPの33%に等しい。所有形態別に分けてみた場合、国有部門、非国有部門、外資部門のそれぞれの名目投資額は、557兆5,000億ベトナムドン、579兆7,000億ベトナムドン、347兆9,000億ベトナムドンとなった。これはシェアでみたときそれぞれ37.6%、39%、23.4%であり、増加率でみるとそれぞれ7.2%、9.7%、9.4%となる。

海外直接投資の呼び込みに関しては、2,613件の新規プロジェクトが2016年に認可され、登記資本額で158億USドルとなった。これは2015年に比べ、プロジェクト数で23.3%の増加、登記資本額で3.2%の減額となった。また、前年から認可プロジェクトとなっている1249件については、66億USドルの増資が登記された。同時に、2016年には、総額45億USドルに及ぶ5970件の外国投資家からの出資と株式購入があった。2016年における新規プロジェクトの総登記資本、増資及び出資と株式購入による投資は、260億9,000万USドルに達した。これは、2015年に比べ11.5%の増加である。海外直接投資(FDI)の実施は150億8,000万USドルに達し、2015年に比べ9%の増加となった。

4. 物価指数及びコアインフレーション

2016年はベトナムにとってインフレ抑制に成功した年とみなされる。一部必需品価格が上昇していた条件下で、生産、消費、需給バランス、および柔軟かつ積極的な政策が一体となり、インフレ抑制に効果的に働いた。その際、多くの国家管理商品について市場価格に近い価格で価格調整策が進められた。2016年12月における消費者物価指数(CPI)は2015年12月と比べ4.74%の増加となった。これはCPIの上昇を5%未満に抑えるというインフレターゲットを達成できたことを意味する。2016年におけるCPIの平均値は2015年と比べて2.66%の増加となった。

2016年12月におけるコアインフレーションは前年の同時期と比べ1.87%の増加となった。2016年の年間平均上昇率は1.83%であり、2015年よりも高くなった。

2016年12月の金価格指数は2015年の同時期と比べ10.98%増加した。2016年の平均指数は5.95%であり、2015年よりも高くなった。2016年12月のUSドル価格指数は2015年の同時期に比べ、0.8%増加した。2016年の平均指数は、2.23%であり、2015年よりも高くなった。

5. 事業登記状況

2016年の新規設立企業の数は、11万100企業と新記録を打ち立てた。これは2015年

に比べ、16.2%の増加である。総登記資本額は、891兆1,000億ベトナムドンとなり48.1%ほど増加した（操業している企業の追加登記資本1,629兆8,000億ベトナムドンを含むと、2016年の経済に加えられる総登記資本及び追加登記資本は、2,520兆9,000億ベトナムドンとなる）。2016年に新しく設立された企業の平均登記資本は8兆1,000億ベトナムドンであり、27.5%増加した。2016年における新規設立企業の総登録被雇用者数は、126万8,000人であり、2015年の86.1%に匹敵する。

2016年の新規設立企業数を主な事業活動別にみると、卸売業・小売業の新規設立企業数は、3万9,000企業（全体の35.4%になる）におよび、2015年に比べ16.5%の増加となった。製造業の企業数は1万4,800企業（全体の13.4%を数える）であり、18.9%の増加、建設業の企業数は、1万4,500企業（全体の13.2%になる）で14.2%の増加、科学、技術、サービス、コンサルタント、デザイン、広告及びその他事業の企業数は8,400企業に達し（全体の7.7%を占める）、23.9%の増加となった。運輸・保管業の企業数は6万3,000企業となり（全体の5.7%を占める）、0.4%の増加、宿泊・飲食サービスの企業数は5万3,000企業で（全体の4.8%を数える）、14.5%の増加となった。

2016年において、再操業した企業は26,689企業あり、前年に比べ24.1%の増加となった。2016年における新規設立企業数と再操業企業数を合計すると、おおよそ13万6,800企業にものぼる。

2016年に一時的に操業を停止した企業は60,667企業あり（一定期間操業を停止する19,917企業、登記無しもしくは解散を待つ企業が40,750企業）、15.2%減少した。また12,478企業が、解散手続きを完了した。これは31.8%の増加にあたる。

6. 産業部門の業績

・農林漁業

2016年における農林漁業は、北部諸省を襲った年初の異常な寒さや、中部での干ばつ、豪雨、洪水、とりわけ中部高原地域での長期にわたる干ばつ、メコンデルタでの塩水侵入のように厳しい天候にみまわれ、多くの困難に直面した。2016年における稲の総産出量は、4,360万トンであり、2015年に比べ150万トンの減少となった。トウモロコシの産出量520万トンを加えるならば、2016年における穀物の総産出量は、4,880万トンと推定され、2015年と比較し160万トンの減少となる。

2016年に全国で新規に植林された面積は、23万3,100ヘクタールに達し、2015年に比べ6.8%の減少となった。そのうち、生産可能林は、21万6,300ヘクタールで4%の減少となった。木材生産は965万3,100立方メートルに達し、4.9%の増加となった。長引いた干ばつと酷暑により、森林火災が立て続けに起こった。2016年における全国の損失森林面積は、4,519.5ヘクタールであり、2015年に比べ29.3%の増加となった。そのうち森林火災の面積は、3,320.8ヘクタールで66.9%の上昇、森林破壊面積は1,198.7ヘクタールで、20.4%の減少となった。

2016年における漁業の生産量は、680万3,900トンとなり、2015年に比べ3.4%の増加となった。そのうち養殖生産量は364万600トンで3.1%の増加、漁獲量は316万3300トンで3.7%の増加であった。わけても2016年4月末に中部沿岸地域（ハーティン、クアンビン、クアンチ及びトゥアティエンフエ）において深刻な海洋汚染事件が起これ、多くの魚類が死ぬ原因となった。これにより、上記各省のみならず全国の漁獲に悪影響を及ぼした。中部沿岸地域の4省における漁業の生産量は、2015年に比べ17.2%減少し（3万5,300トンの減少）、そのうち漁獲量は20.9%減少した（3万2,600トンの減少）。

・工業

2016年における工業生産指数は前年に比べ、7.4%ほどの増加と推定された。これは、鉱業・採石業で急激な生産下落があったため2015年の9.8%、2014年の7.6%より低くなっている。このうち、製造業が11.3%の増加、電気・ガス・蒸気及び空調供給業は11.5%の増加、水供給・下水処理並びに廃棄物管理及び浄化活動は8%の増加となった。鉱業・採石業は6.8%へと急激に落ち込んだ（原油・天然ガス鉱業は8%の減少となった）。

2016年における工業出荷指数は2015年に比べ、8.5%の増加となった。2016年12月31日時点での製造業の工業在庫指数は、2015年の同時期に比べ8.3%増加した（2015年の同時期の指数は9.2%の増加であった）。

・貿易及び観光業

2016年における財・サービスの総小売売上高は、3,568兆1,000億ベトナムドンに達し、前年比で10.7%の増加となった（2015年は10.5%の増加）。

2016年における財の輸出高は1,766億USドルとなり、2015年に比べ9%の増加となった。財の輸入高については、1,748億USドルとなり、5.4%の増加となった。2016年における貿易収支は、18億USドルの貿易黒字となった。これは財輸出高の1%に相当する。2016年におけるサービスの輸出高は、123億USドルとなり、2015年に比べ9.2%の増加となった。サービスの輸入高は165億USドルとなり、3%の増加であった。2016年におけるサービスの貿易赤字は42億USドルとなりサービス輸出高の34.3%に相当する。

2016年における輸送旅客は、36億1,850万人ないし1688億人キロメートルとなり、それぞれ前年比で9.3%、9.2%の増加となった。2016年の輸送貨物は、12億4,020万トンとなり前年比で8.1%の増加、または2,381億トンキロメートルで前年比3.5%の増加となった。

訪越外国人の数は、2016年で1001万人に達し、前年比で26%の増加となった（200万人以上の増加）。これは、ベトナムが1年間で1,000万人の外国人を迎え入れた初めての記録となり、2010年の2倍の数である。

7. 社会問題

・人口・労働及び雇用

2016年における全国の平均人口は9,270万人に達し、2015年に比べ98万5300人の増加となった。これは1.07%の増加に相当する。このうち都市人口は3,199万人で全人口の34.51%を占め、農村人口は6,071万人で全人口の65.49%を占めた。男性人口は4,571万人で全人口の49.31%を数え、女性人口は4,699万人で全人口の50.69%を占めた。

2016年の全国における15歳以上労働力は、5,445万人と推定された。これは2015年に比べ、46万1,100人の増加である。産業に従事する15歳以上労働力は、5,330万人であり、2015年にくらべ46万2,800人の増加となった。産業別のシェアで見れば、農林漁業は41.9%、工業・建設業が24.7%、サービス業が33.4%である。生産年齢で職業訓練を受けた被雇用者の割合は、2016年で20.56%であり、前年の19.9%よりも高くなっている。

生産年齢にある労働力の失業率は、2016年で2.30%である。都市・農村別にみると、それらの失業率は、それぞれ3.23%、1.84%であった。生産年齢にある労働力の不完全雇用率は、2016年で1.66%、都市・農村別にみると、それらの不完全雇用率は、それぞれ0.73%、2.12%となった。

2016年における経済全体の労働生産性は、名目値で8,450万ベトナムドン/人（およそ3,853USドル/人）に達した。2010年固定価格での経済全体の労働生産性は、2015年に比べ、2016年では5.3%高まった。

・生活水準

2016年の全国における1人当たり平均月収の名目値は、304万9,000ベトナムドンとなり、2014年に対し15.6%の上昇をみせた。2016年の1人当たり月平均支出は、215万7,000ベトナムドンに達し、2014年比で14.3%の増加をみせた。所得アプローチに基づく貧困率は、2016年で5.8%となり、2015年に比べ1.2パーセントポイントの減少となった。2016年から2020年の期間における多次元基準を用いた貧困率は、2016年で9.2%となった。

北部山岳地域の異常な寒冷気象、中部の深刻な洪水、中部高原地域の干ばつおよびメコンデルタにおける塩水侵入は、人々の生産と生活水準に深刻な影響を与えた。予備的なデータによれば、自然災害は264人の死亡・行方不明者、431人の負傷者、5,400家屋の倒壊・流失、36万5,000家屋の浸水、損壊、屋根の飛散、そして52万7,700ヘクタールの稲作被害、その他穀物については15万500ヘクタールの被害がみられた。自然災害による全体の損失額は、2016年で39兆7,000億ベトナムドンと推定された。

・社会秩序及び安全

2016年は、全国的に2万1,589件の交通事故が起こり、そのうち1万1,456件の交通

衝突事故、それとは別の深刻な交通事故が1万133件あり、8,685人の死亡者と1万9,280人の負傷者を出した。2015年と比べると、2016年の交通事故の数は5.5%減少した（交通衝突事故は7.5%の減少、それとは別の深刻な交通事故は3.2%の減少）。死亡者数は0.5%の減少、負傷者数は8.5%の減少となった。2016年は平均して1日当たり59件の交通事故が起こった。このうち、交通衝突事故は1日当たり31件、それ以外の交通事故は、1日当たり28件発生しており、24人の死者と53人の負傷者を出した。

全国では、火災・爆発事件が3,045件あり、123人の死者、270人の負傷者を出した。その被害額は、2016年で1兆2,400億ベトナムドンと推定される。前年と比較すると火災・爆発の件数は0.8%増加し、視野数は33.7%の増加、負傷者数は14.6%の減少、そして被害額は35.4%の増加と推定された。

総じて、2016年は、多くの困難と挑戦にもかかわらず、ベトナムの社会経済状況の実績は、良い方向へと変化し、大きな成果を達成することができた。マクロ経済は安定し、均衡が保障され、インフレーションは抑制された。貨幣市場、利子率及び為替レートは安定した。事業環境は非常に改善され、新規設立企業と再操業企業の数は大幅に上昇した。外国人旅客者数は1,000万人を記録した。また労働、雇用及び社会安全の問題が注視され、良い結果をもたらした。

しかし、ベトナムの経済は、いまだに欠点と弱点を抱えている。すなわち、期待されたものよりも低い成長率、低質な成長、低効率及び低競争力、そして低労働生産性（近隣の他国よりもかなり低い）である。森林火災の状況はいまだに深刻であり、交通事故、火事・爆発事件も続き、混乱が増している。自然災害のや環境汚染により影響を被った地域の住民は、多くの困難に直面している。